一

からまつの林を過ぎて、

からまつをしみじみと見き。

からまつはさびしかりけり。

たびゆくはさびしかりけり。

二

からまつの林をでて、

からまつの林にりぬ。

からまつの林にりて、

また細く道はつづけり。

三

からまつの林のも

わが通る道はありけり。

のかかる道なり。

のかよ道なり。

北原白秋

四

からまつの林の道は

われのみか、ひともかよぬ。

ほそぼそと通道なり。

さびさびといそぐ道なり。

五

からまつの林を過ぎて、

ゆしらず歩みひそめつ。

からまつはさびしかりけり、

－２－

からまつとささやきにけり。

六

からまつの林をでて、

にけぶり立つ見つ。

にけぶり立つ見つ。

からまつのまたそのうに。